

広島湾を始めとした瀬戸内海の 漂着ゴミ削減に向けた 調査・研究及び回収実践活動



漂着ゴミによるアート創作

瀬戸内海における漂着ゴミ回収
及び漂着物を利用したイベント開催数

1回

海ゴミMAPの
作成数

1枚(A3)

活動の全体目標に
対する達成度

85%

課題

広島湾周辺で発生する海ゴミ(主にカキ養殖資材)の効率的な回収により自然環境への影響を少なくする。

目標

広島湾周辺で発生する海ゴミがどのような経路で漂流してゆくのかを、気象・海況とともに現地踏査により調査研究。

活動内容

広島湾周辺の海浜を地域別に分けて、それぞれの海浜における海ゴミの漂着状況を調査した。また小型航空機による撮影を実施して俯瞰図を作成し、気象・海況とともに海ゴミの漂着状況を掲載した資料を作成。漂着物が漂流する海況についてのセミナーを開催。漂着物を利用してアート作品を創作するイベントを開催。



倉橋島における漂着状況の調査

達成できなかったこと

イベント当日は、降雨による海ゴミ回収ができなかった。事前の天候把握が十分でなかった。

今後の展望

資金面の充実と、内部の情報の伝達をよりスムーズにして組織の活性化を図りたい。

成果と工夫したポイント



成果

漂着ゴミを利用した創作イベントを、呉市倉橋島市民センターにおいて開催。参加者14名+スタッフ13名。海ゴミ回収は、降雨により中止。

工夫

イベント開催に向けてチラシを作成し、呉市内の小学校に1,000部を配布。